令和４年度　大阪府　国民健康保険事業　決算概況のポイント

**資料１２**

**１　単年度収入の構成は、公費（国費及び府費）が約39％、事業費納付金（保険料等）が約33％、前期高齢者交付金（他保険者からの支援金）が約27％**

・公費（国庫支出金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金）　　　　　　　　　　3,197億74百万円（39.12％、対前年比1.09ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・事業費納付金（保険料等）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2,725億59百万円（33.34％、対前年比1.06ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・前期高齢者交付金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2,243億84百万円（27.45％、対前年比2.19ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　※　国庫支出金（2,619億82百万円）の内訳

療養給付費等負担金1,698億19百万円、高額医療費負担金81億71百万円、特別高額医療費共同事業負担金5億34百万円、

特定健康診査等負担金8億63百万円、普通調整交付金569億96百万円、特別調整交付金 170億90百万円、保険者努力支援制度交付金85億8百万円

**２　単年度支出の構成は、保険給付費等が約80％、後期高齢者医療への支援金が約13％、介護保険への納付金が約5％**

・保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,632億40百万円（80.13％、対前年比0.72ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・後期高齢者支援金等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1,075億23百万円（12.99％、対前年比0.06ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・介護納付金　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　432億86百万円（ 5.23％、対前年比0.18ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　単年度収支差は、102億88百万円の赤字**

**基金繰入金（2億 5百万円）、財政安定化基金貸付金返還金（50百万円）、昨年度繰越金（192億18百万円）の活用、**

**基金積立（12億94百万円）後の次年度繰越額は、78億91百万円**

・次年度への繰越額（78億91百万円）は、令和４年度末における「形式的な」資金収支差。

・療養給付費等負担金、退職者医療交付金及び高額医療費負担金は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び

精算は翌年度（令和５年度）に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

療養給付費等負担金　 **返還額 　 45億90百万円**

退職者医療交付金　　　　　**返還額 　　　　 　47百万円**

高額医療費負担金　　　　　**返還額 　　　　　▲71百万円**

　　　　　　**返還額合計　45億66百万円**

⇒　大阪府分の令和４年度の実質的な歳出規模は、8,335億 49百万円（8,289億83百万円＋45億66百万円）となり、

収支差引残は、33億25百万円（0.4％）の黒字。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和６年３月６日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

令和４年度 大阪府内43市町村総計 国民健康保険事業　決算概況のポイント

**１　単年度収入の構成は、都道府県支出金（普通交付金含む）が約71％、保険料収入が約19％、一般会計繰入金が約10％**

・都道府県支出金（うち普通交付金）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,625億44百万円（6,469億78百万円）70.67％（対前年比0.22ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・保険料収入 　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1,756億39百万円　18.73％（対前年比0.38ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・一般会計繰入金　　　　 　 　　　　　　　　 970億79百万円　10.35％（対前年比0.22ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**２　単年度支出の構成は、保険給付費が約68％、国保事業費納付金が約29％、総務費が約1.7％**

・保険給付費　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,360億71百万円　68.18％（対前年比0.51ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・国保事業費納付金　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 2,725億59百万円　29.22％（対前年比0.44ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・総務費　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 156億99百万円 1.68％（対前年比0.06ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　純資産 (資産－負債）は、黒字41市町村（510億51百万円）、赤字 2市町村（▲11億5百万円）**

**うち、収支差引額では、黒字42市町村（167億41百万円）、赤字 1市町村（▲10億25百万円）**

**単年度収支差は、黒字23市町村（ 66億93百万円）、赤字20市町村（▲20億43百万円）**

・単年度収支差の黒字は、３年度 58億19百万円　→　４年度 66億93百万円（8億74百万円　15.02％増）となっている。

・単年度収支差の赤字、20市町村のうち19市町村は、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字となっている。

・純資産は、３年度　452億86百万円　→　４年度　499億45百万円（＋46億59百万円　10.3％増）となっている。

※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

　　　　　　 基金等保有額は、３年度　316億12百万円　→　４年度　343億27百万円 （＋27億15百万円　 8.59％増）

　　　　　　 次年度繰越額は、３年度　151億79百万円　→　４年度　167億41百万円 （＋15億62百万円　10.29％増）.

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和６年３月６日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。